

公益財団法人水島地域環境再生財団  
平成 29 (2017) 年度 事業報告書

1. 総括

今年度は、公 1、公 2 に分かれていた事業を公益目的事業 1 に一本化した最初の年度として、中長期計画に基づき効率的な事業運営を目指した。平成 25 年度から取り組む「環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会」の活動では、平成 28 年度に開催したシンポジウムで提起された滞在型による学びを実現し、持続的な取り組みとするための体制として「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」を立ち上げた。

財政面では、賛助会員の拡大や支出の精査・削減等、立て直しに取り組んだが、想定していた事業を獲得できなかったことなどにより大幅な赤字となった。

2. 公益目的事業 1 (公 1)

倉敷市水島地域の大气汚染公害の経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざした調査研究、普及啓発活動支援活動の実施

- (1) 公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究
- (2) 公害経験や公害地域再生・地域づくりに関わる情報交流事業
- (3) 環境学習・環境保健活動等支援事業、その他の事業

(1) 公害地域の再生・地域づくりに関わる調査研究及び活動

公害のない、より良い地域環境の創造に資することを旨として、岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の評価・分析事業や八間川調査、海辺のエコしらべなどに取り組んだ。

資料保存では、関連諸組織と連携しながら、資料保存・活用を目指した取り組みを進めた。公害裁判資料等を基に、展示物を作成し、倉敷市環境学習センターでの展示や、視察研修の受け入れで活用した。

※右端の数字は経理で使用する事業コード

岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度評価分析と活用事業 (108)

<b>事業内容</b>	<p>「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行った。</p> <p>(政務調査費事業(日本共産党岡山県議団))各事業者から岡山県へ提出されたデータを基に、分析・評価を行い、温暖化防止に向けた提言を取りまとめ、報告書を作成した。また温暖化防止に向けた勉強会を開催した。</p> <p>4/27 温暖化防止勉強会の開催</p> <p>1~3月 「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の各事業者からの報告書を評価・分析、提言書のとりまとめ</p> <p>3/31 「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の改善にむけた提言(2017年度版)」印刷</p>
-------------	---

海底ごみ対策・豊かな海づくりのための普及啓発・高梁川流域などの環境再生活動 (214)

<b>事業内容</b>	<p>自主事業として、海辺の生きものしらべを実施した。生きものしらべでは、イボニシ、カメノテといった指標生物の調査ほか、海辺の生きものを採取し、専門家に詳しく解説していただいた。海辺の環境の現状を知り、詳しい説明を聞くことでより海に対する理解が深まった、と参加者に好評だった。</p> <p>・海辺のエコしらべ(7/20)</p>
-------------	---

	・ビーチグラスアクセサリーづくり (7/31)
--	-------------------------

**資料保存・整理・活用、保存場所の確保と資料館づくりの検討**

**(341)**

<b>事業内容</b>	<p>資料保存・整理・活用を進めた。裁判資料や記録を基に展示資料を作成し、倉敷環境学習センターでの夏休みの展示や、あさがお会館で展示し、視察研修の受入の際に活用した。</p> <p>全国公害資料館ネットワークに参加し、フォーラム開催へ協力した。12月に大阪市立大学で開催されたフォーラムでは全国の研究者・各種団体と交流、学び合った。</p> <p>展示「八間川ってどんな川?～八間川調査隊に託された夢～」の作成          期間：8月9日～31、会場：倉敷市環境学習センター エコギャラリー          あさがお会館での展示 (9/1～9/31)</p> <p>全国公害資料館ネットワーク：各地と情報を共有し、          全国公害資料館ネットワーク総会 (4/17)          実行委員会 (7/28、29、11/13、2/6)          公害資料館フォーラム in 大阪 (12/16～17)</p>
-------------	---

**水島地域のまちづくりと関連させた八間川調査**

**(111、214)**

<b>事業内容</b>	<p>調査研究活動等で得られた知見や研究者・NPO等との連携を活かし、より良い地域環境を創造し、まちづくりに資することを目指して取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八間川調査隊 (6/17、8/26) ※倉敷市環境学習センター連携講座</li> </ul> <p>また、調査研究活動等で得られた知見等を活かし、各種行政等の審議会・委員会の場で、意見や提言をのべた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県河川整備検討委員会 (年度内開催なし)</li> <li>・岡山県環境審議会審議委員 (9/1、10/13)</li> <li>・倉敷市生物多様性審議会 (2/15)</li> <li>・新岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会 (2/9)</li> <li>・岡山県環境学習協働推進ひろば (かんきょうひろば：岡山県) (1/24、3/20)</li> <li>・中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 運営委員会 (6/9、3/6)</li> </ul>
-------------	--

**(2) 公害経験や公害地域再生・地域づくりに係る情報交流事業**

水島コンビナートと地域を繋ぎ、協働による地域づくりの基礎とするため、企業のCSR勉強会やコンビナートを知る親子向けイベントを開催した。

倉敷市が予算化していた「水島地域力調査事業 (104)」については、平成29年度中には実施されておらず、事業獲得に至らなかった。それに代わる事業の獲得の取組もできなかったため、収益減となった。本事業については、今後の動向を見ながら対応を検討することとした。

みずしま財団たよりをはじめ、マスメディア (FMラジオ) やSNSなど多様な媒体を活用して情報発信を行った。たよりの発行形態の見直しには至らず、次年度以降検討することとした。

地域の市民団体等との協働については、内容を精査し、必要に応じて整理した。また、ESDの視点で活動を推進させ、支援活動が展開できるようにと、「地域ESD活動拠点」への登録申請を行い、2/3に登録された。(中国地方2例目)

**水島地域の各主体とコンビナート企業のコミュニケーションを高める勉強会**

**(224)**

<b>事業内容</b>	<p>平成28年度にコンビナート企業に対して実施したアンケート調査に基づき、企業のCSRに基づいたNPOとの連携や、実践事例を学ぶ「企業のCSR勉強会」を2回 (9/29、</p>
-------------	--

	<p>11/29) 開催した。</p> <p>また、企業と地域を繋ぐイベントとして、地域の親子向けに「水島コンビナートをもっと知ろう！環境学習エコツアー」(8/21)、「海からみずしまのまちを見てみよう・考えよう(エコクルーズ)」(11/5)を開催し、企業活動や環境対策の取り組みについて理解を深めてもらった。これらの活動は、地球環境基金助成事業として取組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回企業のCSR勉強会 「水島コンビナート企業のCSRの現状を学び、共に考えよう」(9/29) 参加者：</li> <li>・第3回企業のCSR勉強会 「工場見学「企業の現場を見に行こう」&amp;留学生との交流」(11/29) 参加者：38名</li> <li>・「水島コンビナートをもっと知ろう！環境学習エコツアー」(8/21) 参加者：35名</li> <li>・「海からみずしまのまちを見てみよう・考えよう(エコクルーズ)」(11/5) 参加者：28名</li> </ul>
--	--

### 市民活動団体への運営支援

(317、221)

<b>事業内容</b>	<p>倉敷・総社温暖化対策協議会などの市民団体・グループの組織を支援し、環境保全を目的とした市民活動のレベルアップを目指した取組みを進めた。</p> <p>地域の団体の支援では、水島おかみさん会から事務委託を受けて水島夢 Koi・Koi！実行委員会、水島お雛めぐり実行委員会などの開催支援をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷総社温暖化対策協議会 交通システムグループを担当、水島の協働取組と連携しイベントを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイクビズ・みずしま「水島で古墳！？」(第6回水島学講座として開催)(11/11)</li> </ul> </li> </ul> <p>瀬戸内の環境を守る連絡会 瀬戸内地域の環境問題に取り組む市民団体の連絡組織として設立された連絡会の事務局を担当し、総行動における閉鎖性海域対策室との交渉を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第42回公害被害者総行動デー 閉鎖性海域対策室交渉(6/7)</li> </ul> <p>STOP温暖化くらしき実行委員会：実行委員会に参加、運営に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・STOP温暖化くらしきミーティング(12/10)</li> <li>・市内の小中学校向けに、環境学習教材用DVD「地球温暖化と私たちの暮らし」、「みずしま物語」を作成した(委託事業)。</li> </ul> <p>おかやま環境教育ミーティング(アスエコ)：実行委員会に参加、協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回 おかやま環境教育ミーティング(8/3)</li> </ul> <p>水島おかみさん会：みずしま夢 Koi・Koi！実行委員会に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水島港まつり 夢 Koiの日(7/29)</li> </ul> <p>NPO 法人かけはし暮らしの困りごとアンケート調査 NPO 法人かけはしが実施する、地域での暮らしの中での困りごとに関するアンケート調査に協力をした。</p> <p>倉敷市立南中学校チャレンジワーク受入 倉敷市立南中学校2年生の生徒(1名)の職場体験の受け入れを行った。 アンケートの入力作業や展示パネル作りを体験し、作成したパネルを基に地域の方と交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷市立南中学校チャレンジワーク受入(11/14-16)</li> </ul>
-------------	--

	<p>クリスマスコンサート in みずしま</p> <p>2003年から倉敷公害訴訟の和解を記念し、患者さんが咳を気にせず楽しめる機会として開催してきたコンサートをコープリハビリテーション病院で開催した。開催にあたり、特定寄附を呼びかけ、寄附を募って実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスコンサート in みずしま (12/23)</li> </ul> <p>インタープリター養成講座 (倉敷市環境学習センター登録団体連携)</p> <p>水島の学びを実践する際に、解説ができる人を育成することを目的とし、講座を開催した。今年度は、海をテーマに原田禎夫氏 (大阪商業大学)、田中丈裕氏 (NPO 法人里海づくり研究会) を講師に迎え、座学と実践を盛り込んだ内容とした。講座の開催と連動して、「みずしまのかんきょうがくしゅうフェア」を開催し、2月25日には、ビーチグラスアクセサリ体験を取り入れた。また同日、イオンチアーズクラブに活動発表の機会を提供した。</p> <p>2/25 インタープリター養成講座「海を語る」 12名参加 2/13～2/28 みずしまのかんきょうがくしゅうフェア</p> <p>イベント等への出展、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷市環境フェスティバル ビーチグラスアクセサリ体験 (6/3)</li> <li>・夏休み展示「海底ごみと私たちの暮らし」(倉敷市環境学習センター)</li> <li>・夏休み展示「八間川ってどんな川? ～八間川調査隊に託された夢～」(倉敷市環境学習センター)</li> <li>・第5回おかやま環境教育ミーティング (8/3)</li> <li>・リサイクルフェア in くらしき ビーチグラスアクセサリ体験 (10/1)</li> <li>・笠岡市環境フェスティバル (10/21) パネルの貸し出し</li> </ul>
--	--

#### たより、年次報告書の定期発行、内容の充実

(331)

<p><b>事業内容</b></p>	<p>みずしま財団の活動を広く一般に周知し、活動への理解を広げることを目的に、広報紙「みずしま財団たより」を年4回(87～90号)発行した。毎号、特集記事として、当財団の事業をピックアップして紹介し、活動内容を分かりやすく紹介した。たより89号に「平成28年度年次報告書」を同封し、1年間の活動を報告した。1月には年賀状を発行し、年始のあいさつとインタープリター養成講座の広報を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みずしま財団たより: No.87(5月)、88号(9月)、89号(11月)、90号(3月)を発行した。</li> <li>・平成28年度年次報告書を発行した。</li> </ul>
--------------------	--

#### HP、SNS、マスメディア等による情報発信の充実

(331、240)

<p><b>事業内容</b></p>	<p>みずしま財団の活動を周知するため、FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」(毎週金曜日)、ブログ、facebook 等による情報発信を行った。</p> <p>みずしま財団のホームページを修正し、出版物や水島に関する書籍の検索等を分かりやすく整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FM くらしき「みずしま財団エコらぼ Friday」毎週金曜 15:45～16:00</li> <li>みずしま財団の活動や環境に関する最新情報や地域情報などを発信した。</li> <li>・ソーシャルメディア(ブログ、facebook 等)効果的な情報発信を目指した。</li> </ul>
--------------------	---

### (3) 環境学習、環境保健活動等支援事業等

環境学習分野では、環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会の事務局として、学びを通じた持続可能な地域づくりの取組を進めた。平成28年12月に開催したシンポジウムで

の提起に基づき、滞在型の学びによる地域づくりを实践する体制として、市民や、地元の企業、経済団体、倉敷市、大学等が参加する「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」を立ち上げた。

環境保健分野では、人々が健康的に暮らせる地域づくりの促進をめざし、COPD と呼吸リハビリテーションの普及啓発を医療関係者、行政との連携で進めた。

コンビナート地域における地域と企業の協働体制を強化し、環境学習を通じた持続可能な地域づくりモデル事業 (224)

<p>事業内容</p>	<p>「コンビナート地域における地域と企業の協働体制を強化し、環境学習を通じた持続可能な地域づくりモデル事業」をテーマに、3つのワーキンググループを中心に取組を進めた。(地球環境基金助成事業)</p> <p>「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」を立ち上げるための話し合いを重ね、3月29日に設立発起人会とキックオフシンポジウムを開催した。</p> <p>①環境学習推進ワーキンググループ</p> <p>水島学講座(教材づくり挑戦編・4回シリーズ)を開催し、人に伝える技術や映像編集等の学びを提供した。また、教材作成の分野では、STOP 温暖化くらしき実行委員会と連携し、環境学習用 DVD「みずしま物語」を作成した。(次年度倉敷市内の小中学校に配布予定)</p> <p>②企業市民ワーキンググループ</p> <p>企業と地域をつなぐことを目的に、環境学習エコツアーやエコクルーズを開催した。企業のCSR勉強会を2回開催し、CSRを活用したNPOとの連携を学ぶとともに、実際に萩原工業(株)の現場を留学生とともに見学し、交流を行った。滞在型の環境学習による地域づくりを目指して「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」を立ち上げる話し合いを重ね、実現させた。</p> <p>③地域交流ワーキンググループ</p> <p>地域を知り、交流促進を目指した連続講座「水島学講座(歴史編)」を継続開催した。今年度は、連島の歴史と旧石器～古墳時代のみずしまをテーマとし、内1回は「バイクビズ・みずしまイベント」として水島に残る古墳の見学を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会の開催(6/12、11/27、2/26)</li> <li>・環境学習推進ワーキンググループ(9/4)</li> <li>・企業市民ワーキンググループ(9/7)</li> <li>・水島学講座(教材づくり挑戦編)(6/28、7/28、8/23、9/27)</li> <li>・水島コンビナートをもっと知ろう!環境学習ツアー開催(8/21)</li> <li>・第4~6回水島学講座(歴史編)の開催(9/19、10/24、11/11)</li> <li>・バイクビズ・みずしま「水島で古墳!？」開催(11/11):第6回水島学講座(歴史編)として開催</li> <li>・第2回教育旅行を考える勉強会を開催(11/27)</li> <li>・第2,3回企業のCSR勉強会を開催(9/29、11/29)</li> <li>・「海からみずしまのまちを見てみよう・考えよう」エコクルーズを開催(11/5)</li> <li>・「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」設立発起人会、キックオフシンポジウムの開催(3/29)</li> </ul>
-------------	--

小・中・高・大学、生涯学習等 講師派遣 (201)

<p>事業内容</p>	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団研究員を講師として派遣し、環境学習を提供した。市民や学生など多様な世代が学ぶ機会を増やすことができた。今年度はESD</p>
-------------	---

やSDGSの視点を盛り込むことに力を入れた。

昨年度に引き続き、財団研究員が非常勤講師となり、岡山大学実践型社会連携教育授業やグローバル・パートナーズの授業について、企画や運営を行った。

#### 岡山大学実践型社会連携授業

前期の木曜7.8限の授業及び、2回のフィールドワークを行った。

- ・ 授業 (4/20、4/27、6/1、6/15、6/22、6/29、7/6)
- ・ フィールドワーク (漁業体験 4/29、水島まち歩き・患者さんとの懇談 5/27)

#### 岡山大学グローバル・パートナーズ

- ・ フィールドワーク「高度経済成長の光と影 生産から廃棄、公害問題の現場に学ぶ」(7/1-2)

その他、以下のテーマを中心に18回の講師派遣を行った。

\*暮らしと環境・社会とのつながり (かんきょうひろば出前授業として)

「食と環境と交通を考える ～フードマイレージ買い物ゲームを通じて～」

- ・ 岡山市立岡山中央小学校 フードマイレージ買い物ゲーム (5/31)
- ・ 岡山市立津島小学校 フードマイレージ買い物ゲーム (6/7)
- ・ 岡山市立曾根小学校出前講座フードマイレージ買い物ゲーム (7/10)
- ・ 岡山市立岡西公民館 フードマイレージ買い物ゲーム (10/13)
- ・ 岡山市立高松公民館 フードマイレージ買い物ゲーム (8/10)
- ・ 岡山市立岡西公民館 フードマイレージ買い物ゲーム (10/13)
- ・ 岡山市立可知小学校 フードマイレージ買い物ゲーム (10/17)
- ・ 井原市マイスター講座 (フードマイレージ) (3/10)
- ・ フードマイレージ講座 (美咲町旭中学校) (3/14)
- ・ イオン倉敷 (食に関する内容) (3/28)

\*水島の地域開発と公害の歴史、環境再生の取組

- ・ まちづくり概論：倉敷芸術科学大学 (6/15)
- ・ 誰のために科学をするのか - 国連の持続可能な開発目標を通じて考える 講演会&ワークショップ (8/31-9/1)
- ・ 水島の歴史を知ろう！：水島小学校 (1/15)
- ・ 冬の岡山高教組教研大会 環境分科会 (1/28)
- ・ 岡山理科大学 環境政策講義 (6/30)
- ・ 高島中学校3年生 環境学習・キャリア学習 (2/19)

\*環境再生・まちづくり

「八間川」

- ・ 八間川をもっと知ろう！：水島小学校 (7/14)
- ・ 郷土の魅力を発見～水島の八間川を調べよう～：水島図書館 (7/26)

\*「環境・まちづくりで働くということ」

- ・ 倉敷南高等学校 ラーニングカフェ (7/21)
- ・ 倉敷南高等学校 社会人講義 (1/16)

\*海関連

- ・ 瀬戸内海の「ひ・み・つ」をさぐる (ビーチグラスアクセサリ体験) : 環境学習センターアスエコ (5/13)
- ・ 福田新田の開発史を学ぶ！クリーンウォーキング：ライフパーク倉敷 (5/20)
- ・ イオン倉敷チアーズクラブ海ごみ学習 (5/21)
- ・ 瀬戸内海を知っていますか？ (漂着物アクセサリ作り)：倉敷市クルクルセン

	<p>ター (8/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフパーク倉敷市民講座 (海ごみ 11/25)</li> <li>・ 私たちのポイ捨てが瀬戸内海のごみになっている！？～海ごみはみんなの問題～ 講演会&amp;展示会：岡山県 (1/27)</li> </ul>
--	---

### 大学・企業向け視察研修

(323)

<b>事業内容</b>	<p>倉敷医療生活協同組合新入職員研修、川崎医科大学見学実習、水島エコツアー、岡山大学実践型社会連携教育授業、岡山大学グローバルパートナーズ研修に加えて、新たに香川大学 (エッカード大学)、都留文科大学など受け入れがあった。合計 16 件でのべ 356 名が水島に学びに訪れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉敷医療生協新入職員研修 (4/3) 46 名</li> <li>・ 川崎医科大学医学生受け入れ (4/12、4/26、5/17、6/7、6/21) 107 名</li> <li>・ 岡山大学実践型社会連携授業フィールドワーク (4/29、5/27) 各 12 名</li> <li>・ 香川大学 (エッカード大学) 6/9-10 8 名</li> <li>・ 岡山大学グローバル人材育成特別コース研修 (7/1-2) 名</li> <li>・ 全国教育研究集会 2017 公害・環境問題と教育分科会フィールドワーク (8/19) 17 名</li> <li>・ 都留文科大学 8/24 11 名</li> <li>「瀬戸内海を環境を考える高校生フォーラム」サイエンスワークショップ (9/2) 61 名</li> <li>・ 岡山大学グローバルパートナーズ (11/29) 23 名</li> <li>・ 岡山大学グローバルパートナーズ スプリング・スクール (1/25) 18 名</li> <li>・ 倉敷古城池高校フィールドワーク (3/22) 24 名</li> </ul>
-------------	---

### COPD (慢性閉塞性肺疾患) の早期発見・治療を目指す地域連携のしくみづくり

(105)

<b>事業内容</b>	<p>(独) 環境再生保全機構の予防事業として (公財) あおぞら財団が実施する「地域における COPD 対策推進事業」の倉敷分科会として取り組んだ。</p> <p>2 年間の事業の初年度にあたる本年度は、COPD の地域における予防と早期発見を目指した取り組みを医師会、保健所、医療機関等と連携して取り組んだ。またミニ健康展で肺年齢測定で要精査が必要な方向けに医療機関の受診を勧め、受診についての追跡調査、患者向けにフライングディスク講座の実施等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉敷分科会 (くらしき COPD ネットワーク) 運営 (6/5、10/30、3/1)</li> <li>・ 「呼吸ケア・リハビリテーション指導者連絡会」運営協力 (大阪、12/8)</li> <li>・ 医療従事者向け COPD 講習会実施 年 2 回 (7/27、11/4)</li> <li>・ ミニ健康展でのハイチェッカーによる肺年齢測定 (5/28、6/8、6/15、7/20、9/9、9/13、9/29、10/7、10/29、11/8、2/1)</li> <li>・ 患者・市民向け COPD 講習会実施 年 4 回 愛育委員会定例会での講演 (7/24、11/9) 在宅酸素患者・COPD 患者向けフライングディスク体験 (11/12、3/4)</li> </ul>
-------------	---

### 医療面から、水島の大气汚染公害の教訓を後世に活かす協働を進める

(341)

<b>事業内容</b>	<p>医療の分野から水島の大气汚染公害の教訓を後世に活かすため、公害裁判資料、患者さんに関する資料等の保存・活用について、公害医療に長く携わっている倉敷医療生活協同組合と懇談を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉敷医療生協との懇談 (6/30)</li> </ul>
-------------	--

## 3. 法人の運営について

## 財産運用益及び会費・寄付金収入

基本財産運用益 216,678 円、特定資産運用益は 715,110 円となった。今年度は、4 月に入って個人・団体等へ賛助会費納入の働きかけをおこない、その後もたよりで納入の願いを同封するなどして昨年度実績の 104 万円に対し 114 万円と、10 万円の増額となったが、新規会員の開拓は進まず、当初予算の 200 万円からは、大幅に下回った。受取寄附金は、当初予算 50 万円に対し、決算は、524,957 円であった。その他、特定寄附として、倉敷公害訴訟弁護団からの寄附（150 万円）と、クリスマスコンサート in みずしまの開催にあたり、特定寄附を立てて、42.9 万円の寄附金収入、パネル寄附（15,000 円）、みずしまプロジェクト（6,000 円）があった。

## 組織ほか

### 機関会議

理事会（6/11、10/22、1/14、2/5、3/4）

評議員会（6/25、3/18）

### 監査

平成 28 年度監査を 5/25 に行った。

### 事務局会議（拡大事務局会議）

毎週金曜日の 11:00～12:00 で事務局会議を開催した。月に 1 回理事、協力者が参加する拡大事務局会議を開催した。

/以上